



**BLACK FLORES**

**-仮面と黒と薔薇-**

# 出会いを巡る



ソレは幾分か的情熱と  
そこはかたなく気品に溢れ  
そしてそれはまるで—



一本の薔薇の様な  
奴だった—



あふふふふ...



お久しぶりです  
リリー・黒橡さん



賞金稼ぎですか



今は  
ブラックで  
通っているの



ソレは

ローズ  
とかいう者の  
影響ですか？



！！



安心して下さい  
まだ殺しては  
いません

実験材料として  
偶々目をつけて  
いたのですが――

ついて  
いましたね



...

あなたは  
勘違いを  
している



私は私の  
意志で選んでいる

今も昔も  
ソレは  
変わらないわ



……  
そうですねか

私は  
変わりましたよ  
黒椽……

— 程に狂う —



ええ  
変わったわ

時代は  
変わったの

地球に私達

宇宙人が来訪して


宇宙交流が始まり

同時に様々な問題が発生した

そしてソレは


波紋やら暴動・派閥を生み  
各地で紛争が起きた

その最前線にいたのが  
私達で――



もう戻らないよ  
変えてしまったから  
動いてしまったから

あの頃には  
戻れない



組織に  
「ケルベロス」には  
戻る気はないと？

●  
●  
●  
●

違う  
もうそんな組織は  
存在していない

だから私が  
しなければいけない  
ことは――

元「ケルベロス」の  
仲間としてアナタを  
止めることよ

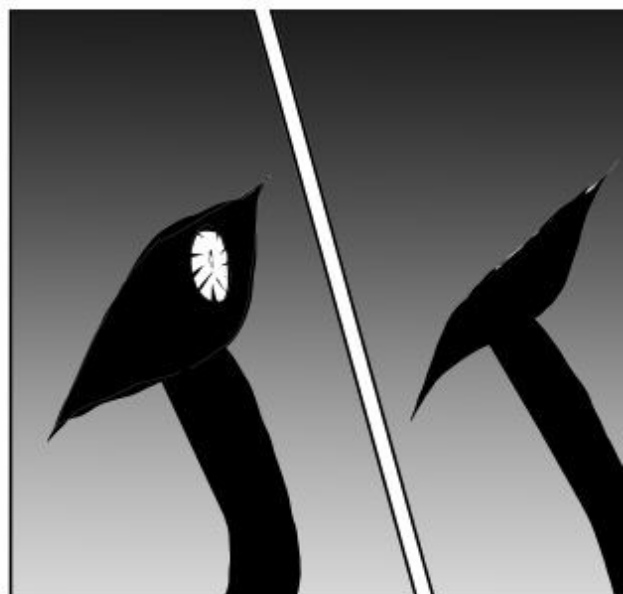
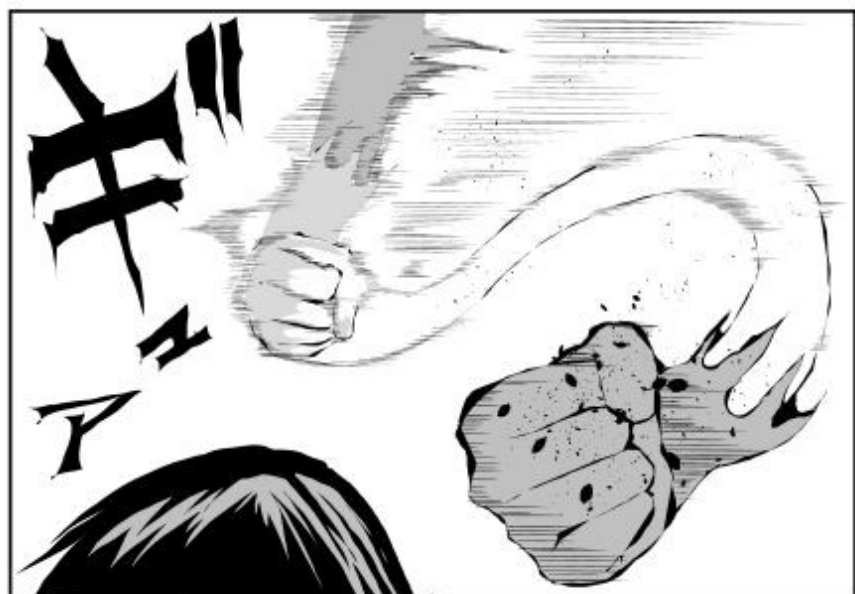




||  
||



やはり  
アナタは  
変わった



変化した!?

が  
っ  
!?





ごほっ！

ピクピク。

おえええええ！

ガクガク



なぜナイフを  
使わないの  
ですか？



お前・には

関係……  
な……い



その力が一番  
発揮出来るのは  
「暗殺」です



能力  
「超高速移動」



相手が能力を  
使う間もなく  
致命傷を負わせる  
ことができる



その補助として  
有効なのは  
ナイフー



しまっつ



「初見殺し」





私を止めたければ  
ナイフを使いなさい

オオ



オオ



そうで  
なければ

アナタは  
私には勝てない



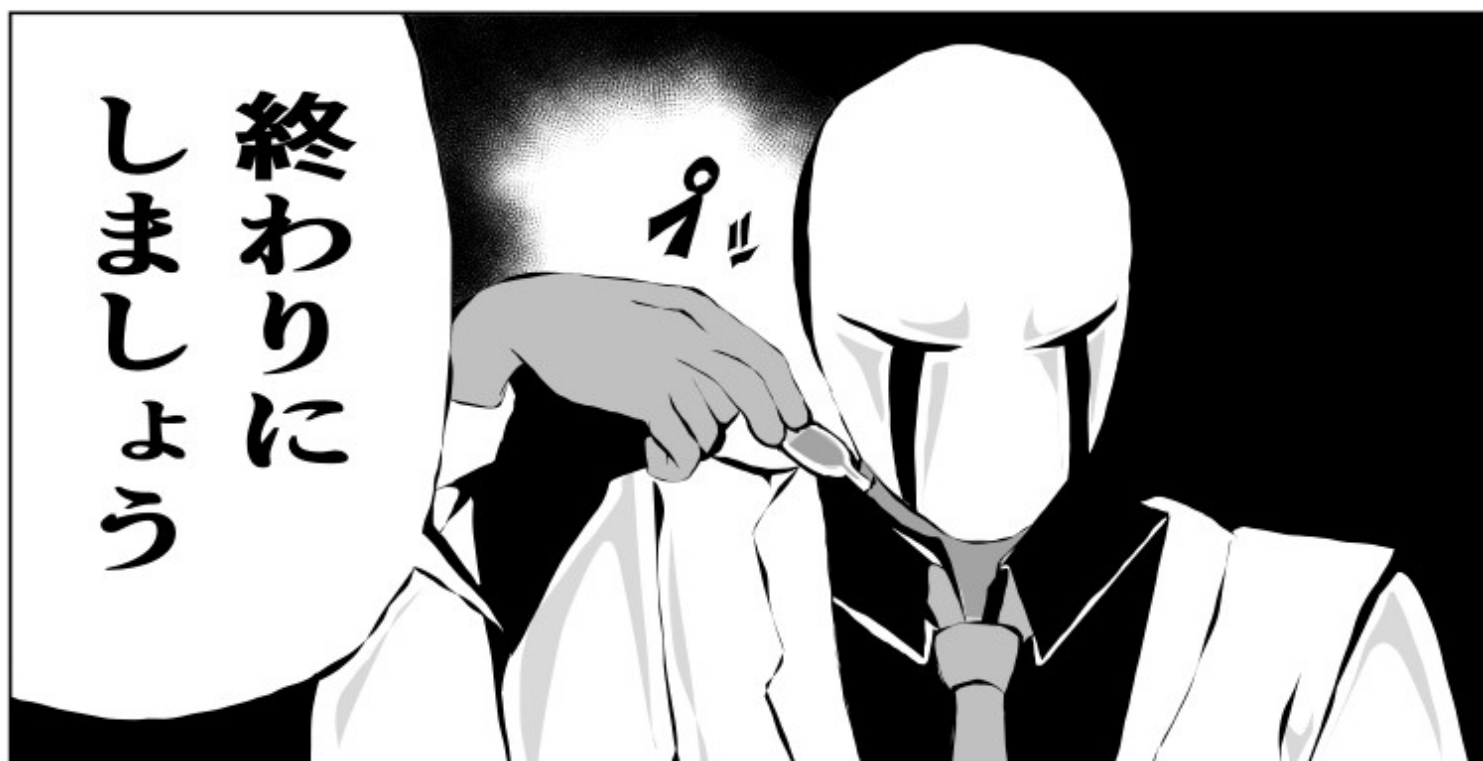


……  
賞金稼ぎを  
始める時に  
ナイフは捨てた



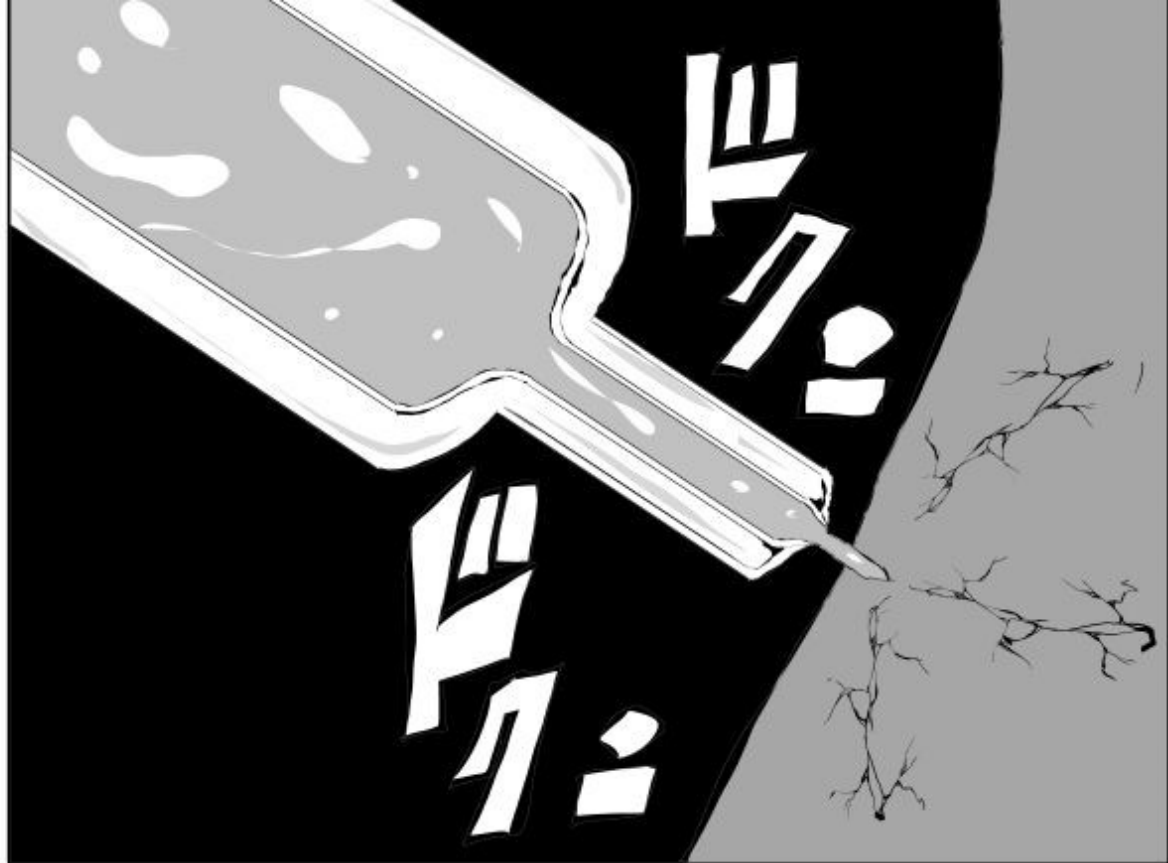
……  
ならば

余計な  
お世話よ



終わりに  
しましよう

接種完了



!?



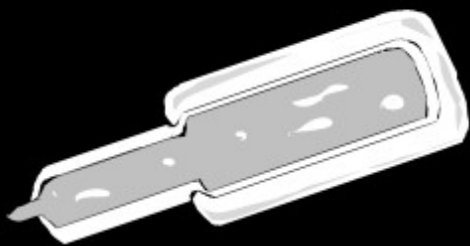




能力の  
移植

私は長年能力者の  
研究をしていました  
その中で目を付けたのは  
他人の能力の移植――

殆どは副作用で  
死に至る  
しかし遂に  
完成しましてね



問題は量産が  
難しいこと――

まだコレは  
四本しか  
ありません

ぐっ



その内の  
一本を使用  
しました

かつ：はあ

ビクビク







移植した能力は  
身体強化十人分――



力ではアナタに  
勝ち目はない

げっあ

ビクッ  
ビクッ



再度  
問いましょう

組織に  
戻るか――



ナイフを手に取り  
私を殺すか……

両方：  
却下よ

げふっあ!

ア  
ア  
ア







ビク  
ビク  
ビク

ガク  
ガク  
ガク





起きて  
下さい



この力の  
素晴らしさ  
理解しましたか？



うっ…



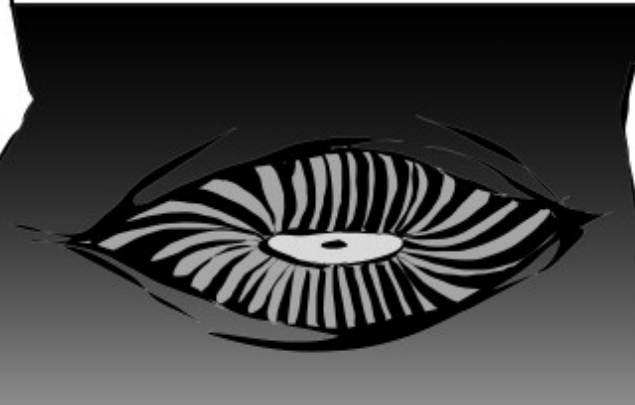
いずれ私は  
この力を量産して—



最強の兵士達を  
作ります

そしてソレは  
集団・組織になりー

「ケルベロス」は  
復活する



革命ー  
政府の連中は  
震えあがりー

ボスの名が  
世界に轟くでしょう

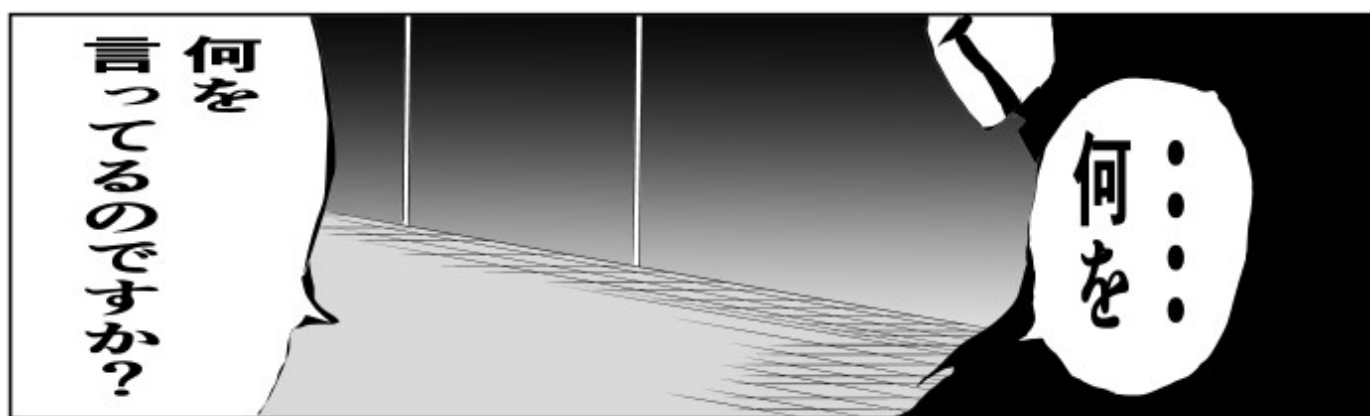


ボスは死んだよ



私とアナタの  
目の前で

ボスは  
殺されたでしょう



……  
何を

何を  
言ってるのですか？



……そう  
マントクス

アナタは本当に  
狂って狂って  
壊れてしまったのね



ぎゅぎゅぎゅ!?

壊れている?

狂っている?



ぐわっ!!



ガガガ

ズッ  
ズッ  
ズッ



ズッ

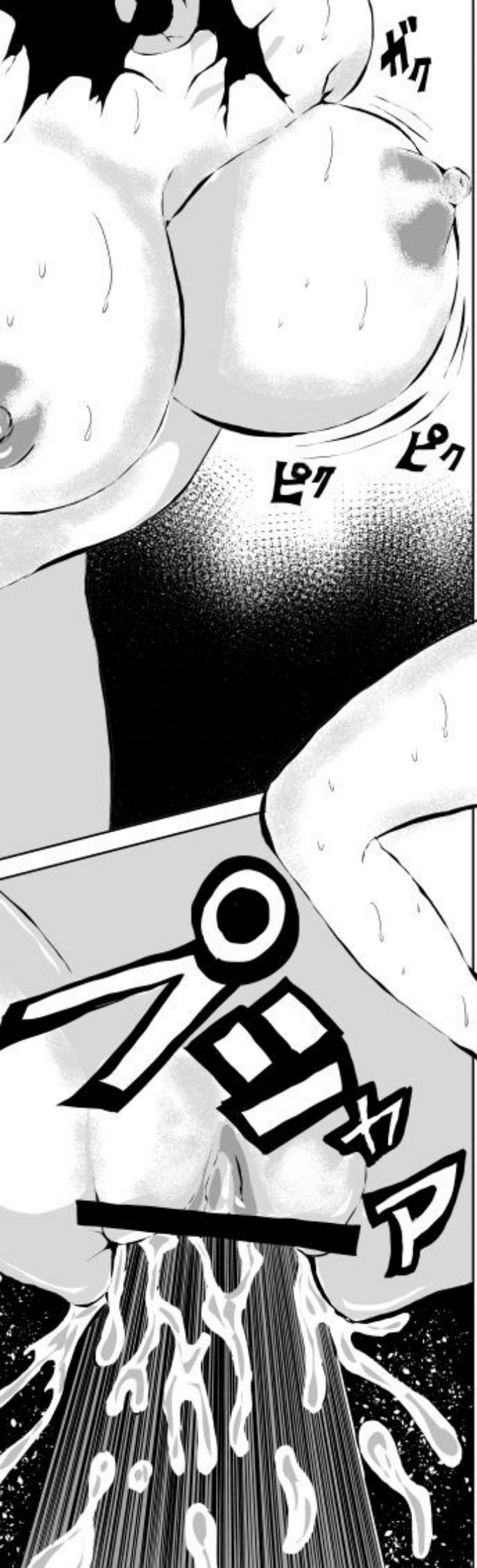


ぐあー!

おお!

ズッ  
ズッ







かつ!

ああああ!!

おお!

ガクガク



ガクガク

ガク

ガクガク

ガク



教えて  
もらいますか

...



黒橡——

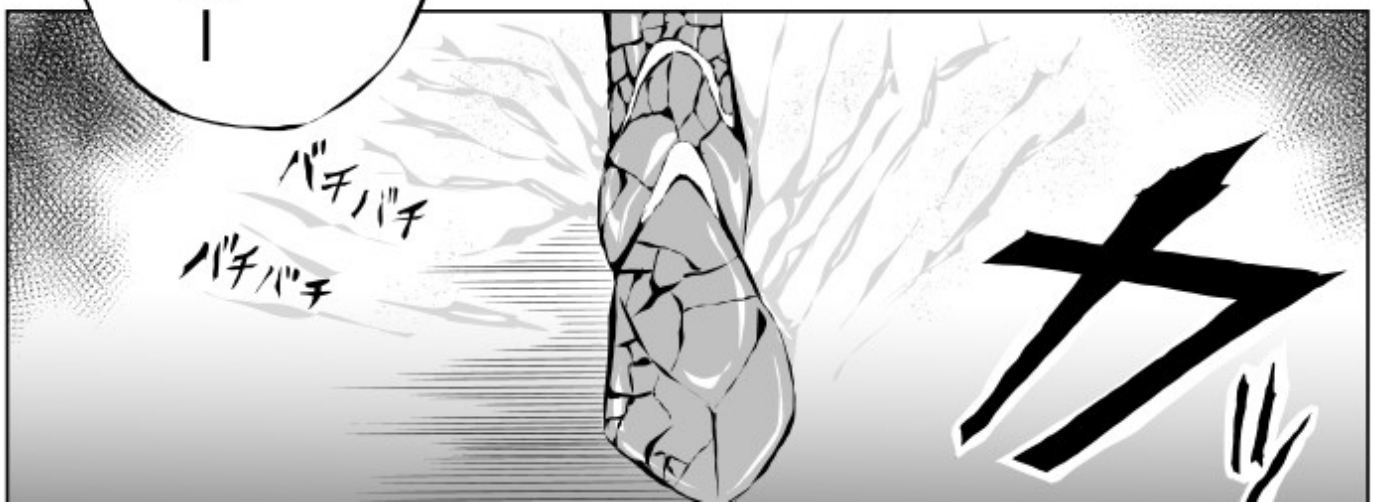
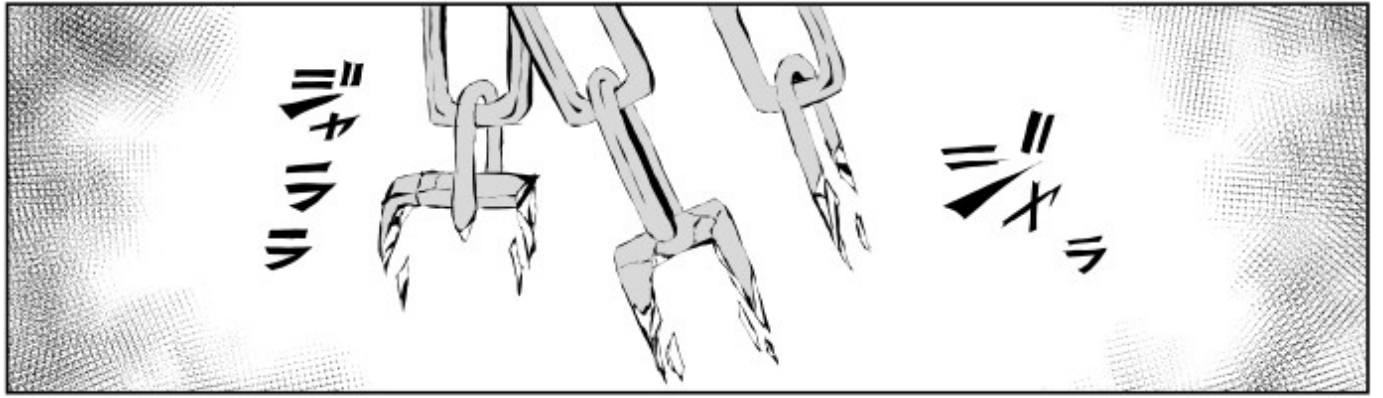
ガクガク

ゴクゴク











オオオオオ

アナタはー

ハハハハハ

ハハハハハ



友達だよ  
ブラックちゃんの

ガチガチ



ソレは幾分かの喧騒と  
そこはかとなく愛嬌があり  
そして紛れもなく—



私の友人だった

ご購入ありがとうございます！



※本作品の無断転載・加工・複製  
を禁じます。

尚18歳未満の閲覧・購買は禁止です。

サークル Aries